

6 iQuattro® サプライヤーコラボレーションサービス

End to End サプライチェーンを実現し 企業・組織横断でのDX実現をサポート

iQuattro® は、最新技術を搭載したDXプラットフォームを軸にコンサルティング、機能開発、トレーニング等で企業のDXを加速するトータルソリューションだ。Smart Supply Chain 領域での、サプライヤー連携による業務変革プロジェクトにおける推進ノウハウ、コンサルノウハウ、ITソリューションを結集し、サプライヤーコラボレーションサービスを展開している。

サプライチェーン全体での 情報共有が不可欠な時代に

近年、多くの企業が地政学的緊張を受けた調達コストの上昇や供給制約による調達難、パンデミックによる国内外の需要減少や仕入れの遅延など、サプライチェーンの困難に見舞われている。

また、化学物質の管理やカーボンニュートラルなど、規制への対応や管理が必要とされる項目が加速的に増えており、サプライヤーにかかる負担も増している。負担に耐えられないサプライヤーの離脱や調達コストの高騰によって、サプライ

チェーン全体の脆弱化にもつながりかねない。

このような状況への対応は、メーカーのみの取り組みでは難しく、社外のステークホルダーを巻き込み、社会全体で情報を取得し共有する、End to End (E2E) のサプライチェーン管理が必要となってくる。

E2E サプライチェーン構築を 実現する iQuattro®

E2E サプライチェーン情報の可視化・共有化には、企業グループ内情報の可視化、企業間の取引単位でのアナログ情報のやり取り、デジタ



株式会社 NTT データ
法人コンサルティング&マーケティング事業本部
コンサルティング&マーケティング事業部
コンサルティング担当
(左) 主任 田村 紘平氏
(右) 主任 小倉 茉莉氏

ルでの企業間の常時連携によるスピーディな調整や事前のリスク検知という3つのステップが想定されるが、日本企業の多くは第2段階に

あり、デジタル化による企業間情報連携が実現しているケースは多くはない。

多岐にわたるステークホルダーの説得、サプライヤーの巻き込み、既存システムとの連携等々、一般的なシステム構築とは異なる難しさが存在することが大きい。

これらの課題に対応

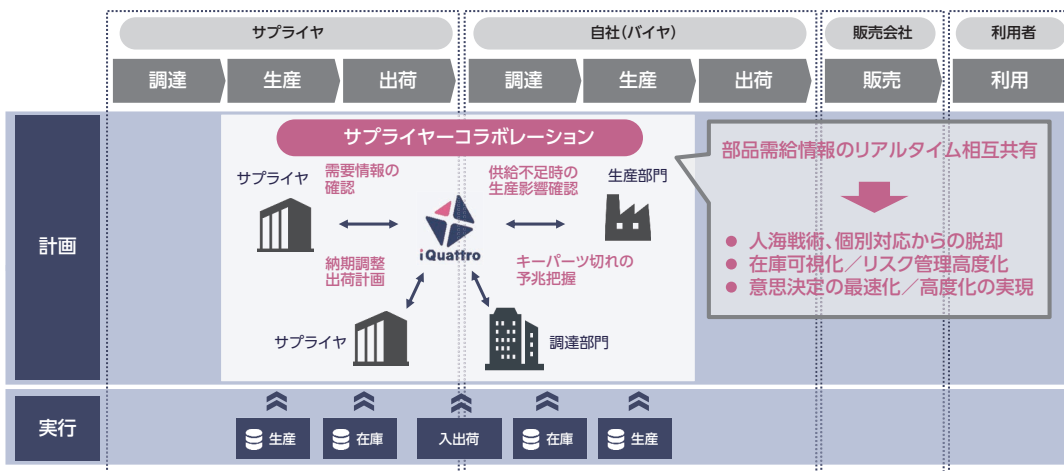


図1 サプライヤーコラボレーションサービス

すべく、NTT データがこれまで推進してきたサプライチェーン領域における業務変革プロジェクトの推進ノウハウ、コンサルティング力、ITソリューションを結集したのが iQuattro® サプライヤーコラボレーションサービスである。

サプライヤー、生産部門、調達部門などをリアルタイムでつなぎ、部品の需給情報を相互に常時可視化できるようにする。それによって、エクセルによる計画づくりなどの個別対応から脱却することができ、在庫情報が可視化され欠品リスクの予兆が把握できるようになる。その結果として、意思決定の迅速化、高度化が実現し、さらなるデータ活用につながるものとなる。

ニーズに応じた活用基盤と導入プロセス

iQuattro® のプラットフォームは、どのような場合にも必要となる、情報を蓄積する部分を「共通部」として各種のソリューションをパッケージ化している。そのうえで、活用領域については、お客様の用途に応じて最適なアプリケーションを組み合わせていく。最新のトレンドと

なる技術を見極め、API でつないで提供しており、常に価値の高い機能やサービスを利用していただけるようにしている。

サプライヤーコラボレーションサービスの導入にあたっては、構想策定からの支援と価値検証からの支援のふたつのアプローチをとっている。

サプライチェーン改革の必要性を認識しつつも、具体的なロードマップなどは持っていないというお客様には、分析診断ツールを用いたSCMの現状診断を行い、目指す姿を検討し決定した上で、そのギャップを埋めるには何が必要かを考えていく。さらに、最大のポイントとなるサプライヤーの巻き込みについては、サプライヤーへのヒアリングを行った上でインセンティブ設計やシステム連携方針を検討し、それらをアーキテクチャに落とし込んでソリューションを選定していく。

一方で、現状把握はできている、実際に何ができるのか、どう動くのかを見てみたいというニーズも非常に多い。そこで、クイック検証型として、トライアルアプリ、プラットフォームを活用し、実現後の業務イ

メージを体験した上で、検証していただくという、価値検証からの支援も行っている。

企業の壁を越えたサプライチェーン最適化を実現

あるグローバル電気機器メーカー様の事例では、グローバル 100 社以上のサプライチェーンに散在するデータをつなぎ、部品需給の適正化やサプライチェーンの最適化を実現した。

サプライチェーン上では、生産、在庫、出荷の情報が共有されず、過剰在庫や欠品も頻発。製造工場横串での情報連携が行われていないため在庫が偏在する状況なども見られた。そこで、iQuattro® により、サプライチェーン上の生産計画、実績、在庫状況を、本社・工場・サプライヤー全てで共有する基盤を構築。その結果、大幅な業務効率化が実現し、さらにデータに基づいた迅速な意思決定が実現することとなった。

蓄積したデータを活用し企業・組織横断での DX を実現

サプライチェーン全体がつながりデータが蓄積されていくと、そのデータの活用範囲も広がっていく。

既に、化学物質（環境負荷物質）の組成情報を、なりすましや改ざんを防ぐためにブロックチェーンを用いて共有・見える化した例などもあり、今後も蓄積したデータを活用した新たな価値の創出に取り組んでいきたいと考えている。

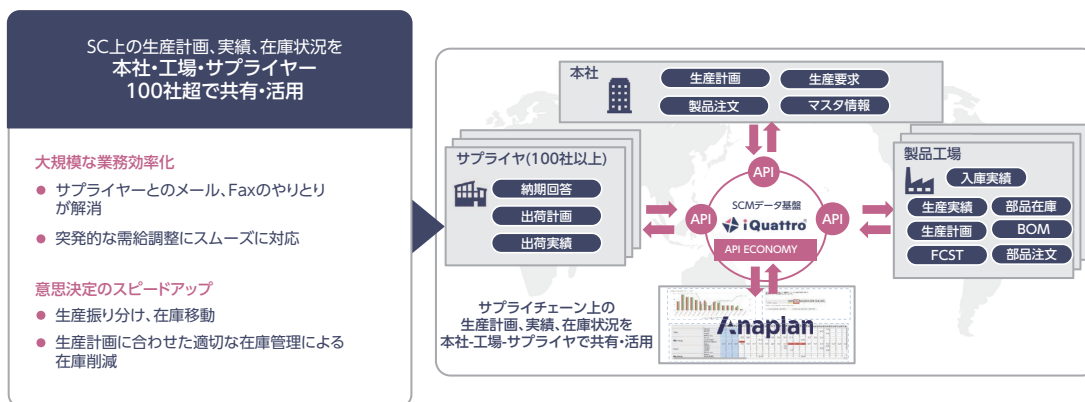


図2 Smart Supply Chain の事例